

# 思春期の処方箋

最終回



まつしまのぶひろ  
松島伸浩

花まるグループの進学塾部門「スクールFC」代表

昭和38(1963)年、群馬県生まれ。花まるグループ常務取締役。大手進学塾で経営幹部として活躍後、36歳で自塾を立ち上げ、個人と組織の両面から、「社会に出てから必要とされる『生きる力』を受験学習を通して鍛える方法はないか」を模索する。その後、花まるグループに入社。のべ10,000件以上の受験や教育の相談実績があり、保護者からの絶大な支持を得ている。著書に『中学受験 親のかかわり方大全』(実務教育出版)など。

反抗し、秘密を持ち、葛藤で心をヒリヒリさせている思春期の子どもたち。この時期の接し方について悩むすべてのお父さんお母さんに、「花まる学習会」の講師たちが心の処方箋をお届けします。

## 見えにくくなっただけで、やる気の元はちゃんとあります。子どもに心底楽しい経験を！

### やる気は見えにくくなる

「うちの子、いつになったらやる気になるでしょうか」。このような悩みを持つ親御さんは多いと思います。

もともとやる気がない子はいません。幼いころは好奇心旺盛だったのに、成長とともに外からは見えにくくなるのが、やる気です。そして、自分に自信が持てない子ほど、やる気がないように見えてしまいます。

「やっでもどうせできない」「もともと頭が悪いから」。もし、子ども自身がこんなふうな思っていたとしたら、やる気にならないのもうなずけますよね。

では、そう思ってしまった原因はどこにあるのでしょうか。大人、特に親からのひと言が原因の場合もあるので、気をつけなければなりません。大人が何げなく言ったことでも、子どもには本気と冗談の区別がつかず、言葉どおりに受け止めてしまうことがあります。一番身近な大人である親が自分を信用してくれなければ、安心できる場所であるはずの家でも気持ちが落ち着きません。

### 失敗はゆったり見守ろう

ここで、気をつけなければならないことがあります。それは子どもが失敗したときの大人のかかわり方です。

自らの意思で始めたことであれば、失敗しても「自分ではこう考えたのに、どうしてうまくいかなかったんだろう」と原因を考え、改善しようとしています。

ところが、大人が「ほらみなさい。言ったようにやらないからうまくいかなかったのよ」というような、結果だけを評価する対応をすると、子どもは心が冷めて、意欲もなくなります。

失敗は成長に欠かせないプロセスです。大人は失敗の大切さを分かっているはずですが、わが子のことになると「失敗してほしくない」という気持ちが先走り、うまくできる方法ばかりに目が向きます。

失敗を乗り越えて達成できたときほど、大きな自信につながります。わが子の長い人生の中で、この失敗や挫折は必要なことだと俯瞰しながら、鷹揚な心構えで見守ることが、自立を促し、やる気を育むことにつながります。

### 心の底から楽しむ経験を

小学校高学年以上になると、子どもは家族とは違う外の社会をつくるようになります。自然に親から自立しようとする時期が思春期です。周りからの指図を嫌い、自分で決めたいという意識が芽生えてきます。

しかし、未熟で非力な自身の現実には直面し、身体の変化も相まって、さまざまな悩みが生まれます。反面「親には頼りたくない」という自立のプログラムが働き、反抗的な態度をとるようになります。そして「親は私のことを何も分かってくれない」などと思いつむようになるのです。

親としては、理由がはっきりしない子どもの反抗的な態度に苛立ちますよね。反抗期が成長の過程だと分かっているにもかかわらず、いいことを言っても、言わなくてもいいことを言っ

てしまい、後悔することが日常的に繰り返されてしまいます。野生動物の多くはある時期になると、あえてわが子と離れ、自然界で生き延びられるよう、自立させます。野生動物には、そうした実行すべき子育てのプ

ログラムが備わっていますが、人間の親はさまざまな理由で子離れができず、わが子の自立を阻むことがあります。自立させるということは、その子のありのままの成長を認めることです。同じ年齢でも成熟の度合いは異なりますから、その子なりの成長を認め、一人ではできないことも、できるようになるまで待つてあげる。そうすることにより、自分の力でできるようにするとき、子どもは自信を持てるようになります。

ところが、人から言われたことを無理してやっているうちは、その経験を自分事として捉えられないので、達成感が乏しいのです。大人でもやらされている仕事は、自分の力で試行錯誤しながらやり遂げたことに比べて、心の底から楽しいとは感じにくいと同じです。

心の底から楽しいと感じる経験こそが、モチベーションの向上につながっていきます。

内発的動機づけともいいますが、それこそが本物のやる気を生み出す原動力になるのです。

